

公益社団法人 日本青年会議所

MDGs 認知向上プログラム

マニュアル

2012年度 公益社団法人 日本青年会議所
国際グループ
グローバルコミュニケーション確立会議

国連ミレニアム開発目標（MDGs）は2015年までに達成すべき目標として掲げられています。しかしながら、国内においての認知度は未だ圧倒的に低いのが現状です。残り4年という時間の中で、まずは国際社会の抱える課題と解決するための運動を青年会議所メンバーがよく知り、さらにその運動を、より多くの未来志向の子どもたちに広げていく必要があります。

今年度、当会議体は国連と協働して進める運動を担当致します。国連の進めるMDGsに対し、認知度が更に向上し、運動が広がっていく。それが恒久的世界平和に繋がっていきます。

当プログラムを有効にご活用下さい。

2012年度 公益社団法人 日本青年会議所
国際グループ
グローバルコミュニケーション確立会議
議長 稲葉 崇浩

目次

第1項 MDGs 認知向上プログラムについて（各地小学校対象）

第2項 MDGs 認知向上プログラムについて（JC メンバー対象）

第3項 担当者連絡先

第4項 その他（別添資料）

- ・ MDGs とは
- ・ MDGs の今後の課題

別添資料は各委員会 HP からダウンロードできます。

- ・ グローバルコミュニケーション確立会議

<http://www12.jaycee.or.jp/2012/global/>

第1項 MDGs 認知向上プログラムについて（各地小学校対象）

世界の中の日本と世界平和について学習を始める小学校高学年児童に対し、分かりやすいツールを用いながら世界の現状を知らせ、世界平和に向けて何をすべきかを考える機会を与えながら、将来自主的に国際貢献できる人材を育成するためのプログラムを実施します。

- ・ 1コマ45分間のプログラムです。
- ・ プログラム終了後、児童には「世界はひとつ」というテーマに基づいて絵を描いてもらい公の場で展示することによりMDGsの認知の広がりにつなげます。
- ・ 絵に関して、優秀な作品は表彰しグローバルパートナーシップサミットにおけるレセプションパーティや当会議体の別事業への優先参加など、特典を設けます。

下記要領にて各ブロック 1校を目標に小学校でMDGs認知向上プログラム開催を目標としています。

つきましては、プログラム実施頂ける小学校をご紹介下さい。
グローバルコミュニケーション確立会議より講師を派遣し、プログラムを開催致します。ご紹介については、第3項 各地担当一覧をご参照下さい。

【参考：プログラム内容】 各地の要望、事情により若干の変更はあり得ます。

1. 趣旨説明

授業の必要性と目的を明確に伝える。

2. モジュール

世界の同年代の子どもたちの現状を伝え地球規模の課題への興味を持たせる。

3. モジュール

アフリカの子どもたちと自分たちの生活の違いについて考え問題意識を与える。

4. モジュール

日本の「OMOIYARIの精神性」を説き世界の人々への貢献のヒントを与える。

世界の取り組みとして国連ミレニアム開発目標を紹介し認知向上を図りつつ問題意識を持ち続けるよう目標をたてさせる。

【プログラムの流れ】 趣旨説明（2分） 授業の内容と、授業を受ける児童に将来どんな大人になって欲しいのかを伝える。

モジュール（8分）

02:00 ~ 04:00

同年代の子どもたちが兵器をもっている写真を見せ、何をしているところか考えさせることで衝撃的な世界の現状を印象付ける。

04:00 ~ 06:00

40秒に1人と言うキーワードから同年代の子どもたちが命を落としている現状を認識する。

06:00 ~ 08:00

国民の26.2%が何の数値かを考え発表し、識字率の低いことの問題を伝える。

08:00 ~ 10:00

文字が書いてあるペットボトルの液体を飲むイラストを見せ、なんて書いてあるか考える。

文字が読めないことは生死に関わる問題であることを気付かせる。

予め準備しておいた紙コップに外国語で内容液を記入してあるものを飲ませ文字が認識出来ないことの危険さを体験する。

モジュール のまとめとして改めて世界の現状を伝え総括する。

モジュール（23分）

10:00 ~ 15:00

（マリの一家の一日の映像を上映する。）

15:00 ~ 17:00

マリの姉妹が毎日運んでいる水の重さを体験する。
予め準備しておいた水を入れておいたポリタンクを順番に持ち上げてみる。

17:00 ~ 19:00

日本の子どもたちの生活との違いを回答シートに記

19:00 ~ 29:00	<p>入し考え発表させる。</p> <p>日本との生活の違いについて4つのテーマについて考える。</p> <p>テーマ1 貧困について</p> <p>テーマ2 学校について</p> <p>テーマ3 男女平等について</p> <p>テーマ4 健康面について</p> <p>最後に日本が恵まれている事を伝える。</p>
29:00 ~ 33:00	<p>MDGsの8つの問題を説明する。</p> <p>初等教育問題の解決が全ての問題解決につながることを説明しモジュールを総括する。</p>
モジュール (12分)	
33:00 ~ 38:00	<p>自分に出来る事を考えさせて発表させる。</p>
38:00 ~ 39:00	<p>青年会議所が行う国際貢献活動を伝える。</p> <p>「OMOYARI運動」とナッシング・バット・ネッツ・キャンペーンの紹介。</p>
39:00 ~ 40:00	<p>実際の活動紹介</p>
40:00 ~ 44:00	<p>授業の感想を記入させる</p>
44:00 ~ 45:00	<p>クロージング</p>

第2項 MDGs 認知向上プログラムについて（JC メンバー対象）

各 LOM で MDGs 認知向上プログラムに関連する事業を実施される場合のサポートを致します。各 LOM から市民の皆様へ運動が伝播していけば、それが最も JCI の運動理念に叶い、最高の結果であると考えています。

- ・ 例会、会員研修、アカデミー事業などご要望に応じてグローバルコミュニケーション確立会議よりスタッフを派遣し、プログラム開催のサポートを致します。
- ・ お問い合わせについては、第3項 各地担当一覧をご参照下さい。

第3項 担当者連絡先

- ・ 2012年度 公益社団法人 日本青年会会議所
国際グループ
グローバルコミュニケーション確立会議
JCI NOTHING BUT NETS キャンペーン
統括責任者 副議長 出口 一馬
motomachi.deguchi@gmail.com
080-4063-7271

第4項 その他（別添 PDF 資料）

- ・ MDGs とは
 - ・ MDGs の今後の課題
- 別添資料は各委員会 HP からダウンロードできます。
- ・ グローバルコミュニケーション確立会議
<http://www12.jaycee.or.jp/2012/global/>